

### 第3号様式 別紙

#### 宿泊事業者等団体

名称	一般社団法人 野沢温泉観光協会 インバウンド部会			
住所	長野県下高井郡野沢温泉村豊郷9780-4			
代表者氏名	インバウンド部会 会長 森 晃			
連絡先	電話 0269-85-3155 (野沢温泉観光協会) 担当：事務局 河野将城 masaki@nozawakanko.jp			
構成員	野沢温泉ホテル、中島屋旅館、ホテルハウスサンアントン、 四季の宿河廣、やすらぎの宿白樺、河一屋旅館 (構成員6者、うち補助対象事業者5者)			
団体事業	具体的な内容	実施無し		
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	(2) 館内及び客室内のトイレの洋式化 2件 (6) 客室の和洋室化 3件		
	実施時期	平成28年8月23日～平成28年12月31日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計：13,098,670円 補助金合計：4,827,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	30.3 (%) (30.2)	35.0 (%) (32.0)	28.0 (%)
	第2四半期	35.4 (%) (35.3)	40.0 (%) (38.0)	35.3 (%)
	第3四半期	45.1 (%) (42.0)	50.0 (%) (48.0)	39.0 (%)
	第4四半期	70.2 (%) (64.2)	80.0 (%) (76.0)	78.5 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	月次の実績値を見ると、野沢温泉スキー場の営業期間中であるウィンター期(4月と12月、1月、2月、3月)については目標を上回った実績であった一方、グリーン期(5月から11月)では、夏期休業・盆休みで日本人の旅行者が増え			

る8月以外の月は殆ど目標値には及んでおらず、5月・6月を含む第1四半期、7月・9月を含む第2四半期、10月・11月を含む第3四半期も目標に達していない。前々からグリーン期の集客が野沢温泉のウィークポイントであったが、この部分を打開するために、夏期のスキー場を利用し集客を目指した「野沢温泉スポーツ公園」が昨年7月にオープンした。ところが、現状の設備では短い滞在時間の利用客が多く、結果日帰りでの旅行客が多く、宿泊客増加を担う一翼を担えなかった。

ウィンター期については、シーズン早くの11月末から降雪はあり、宿によっては前年と比べ高実績を記録したところもあるが、野沢温泉全体的には12月の入込は前年の90%程度であった。これはクリスマス休暇で来ていた特にオーストラリア方面からの客が旅行時期を1月以降にシフトしたとみられる。理由として、前年のクリスマス時期は例年に比べ記録的に降雪が少なく、結果なんとかスキー場をオープンさせられる程度の降雪量であったため、良質のパウダースノーを求める客層が1月以降に旅行日を設定したことが考えられる。1月以降は2月末までの期間を通して順調に降雪があり、また気温が低い日が続いたため良好な雪のコンディションが維持できたこと、近隣の白馬・志賀高原・妙高のスキー場と提携した長野・新潟スノーリゾートアライアンスでのオーストラリア・シンガポール・香港・イギリス等での誘客プロモーションや過去野沢温泉に宿泊した友人・知人や、旅行サイトやSNSでの口コミにより良質で豊富なパウダースノーを有し、日本有数の広さを誇る野沢温泉スキー場と日本の情緒と地域の文化、良質の温泉を持つ野沢温泉にスキー旅行先を決める外客が前年に引き続き増えていることで宿の稼働率が目標値を上回った結果となった。更に、外国人客で賑わっていることが活気を生み、それが日本人スキー客への呼び水となって日本人客を含めた全体稼働率が上がったものと考えられる。

合計外客宿泊者数の目標及び実績値	<事業開始前>	<目標>	<実績値>	
	第1四半期	100 (人) (98)	120 (人) (115)	271 (人)
	第2四半期	100 (人) (98)	120 (人) (115)	84 (人)

	第3四半期	1,000 (人) (950)	1,100 (人) (1,050)	1,013 (人)
	第4四半期	2,000 (人) (1,850)	2,200 (人) (2,000)	6,760 (人)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	<p>構成員宿が一者減ってもなお、ウィンター期にかかる期間については目標値を上回ることが出来た。</p> <p>要因としては第1四半期の4月は気温が低い日が多く、山頂方面に雪が多く残っていたため、引き続きスキーを楽しむ平均数泊程度の層があったのと、「雪を見に来た」程度のスキーにはあまり馴染みが無いであろう国(例:タイ、インドネシア、ブラジル等)からの宿泊客もいた。この時期の観光案内所では「野沢温泉では1～2泊し、雪を見に行き、翌日は次の目的地に向かう」との日本各地を周遊する客も見受けられた。この時期の宿泊料金はトップシーズンより安く設定している宿も多くあり、そういった雪を見に来る客層の存在も目標達成に貢献したと考える。</p> <p>グリーン期にあたる第1四半期後半～第3四半期の5月～11月においては、わずかに冬の野沢温泉に来たもしくは興味を持った方が「夏場の静かな山間の温泉村を楽しみたい」と来られることがある。グリーン期の野沢温泉についての外客への宣伝・誘客活動は、ウィンター期とは異なり、手が付けられていない部分がまだまだ多く、その結果が数字に表れている。</p> <p>ウィンター期の12月については、前年の12月が記録的な雪不足であり、その前評判がウィンター期の外客の半数を占めるオーストラリア方面からの客が12月から1月以降の旅行にシフトされたと考える。実際、野沢温泉観光協会独自の外客宿泊調査においては、12月に宿泊した外客の全体数が15%ほど落ち込んでおり、構成員の宿でも同様に10%前後前年より下回った数字となっている。12月と打って変わって第4四半期の1～3月は降雪にも恵まれ、期待される「パウダースノー」の質・量と申し分なく、オーストラリアを中心に、香港、台湾、シンガポール、米国等のプロモーション活動を行った地域からの客が全体の70%強を占め、この第4四半期は好調な数字を見せた。</p> <p>また中国でのスキーブームの影響もあり、野沢温泉では特にプロモーション活動は行っていないが、前年に比べると中国本土からのスキー客も多少増加の傾向が見られた。</p>			

<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>今回実施したトイレの洋式化は外国人宿泊客の満足度向上に繋がったと考える。客室の和洋室化については、和洋室を好む客層もあるが、宿によっては、和室の方が人気である。特に和風の温泉旅館では、洋室・和洋室より和室を要求する客も少なく無く、和洋室の設置が必ずしも外客の宿泊人数増加や稼働率の向上に繋がるとは考えていない者も見受けられる。</p> <p>今後の野沢温泉の課題として、ウィンター期では、既に各宿の稼働率が繁忙期では80～90%に達しているため、更なる受入を強化することは難しいが、オーストラリア・米国・シンガポール・台湾・香港・英国等を中心とした現状の客層を維持したい。引き続き長野・新潟スノーリゾートアライアンスと連携したプロモーションや商談会、WebやSNSで積極的にPRし、世界的スキーリゾート地を目指してゆく。</p> <p>グリーン期では、現在スキーリゾートとして上昇している知名度を利用し、年間楽しめる「和のマウンテン温泉リゾート」としてMTBやトレッキング、SUP等のアクティビティや自然湧出の掛け流し温泉、地域文化等静かな山間の小さな村で楽しむことを長野県主催の旅行商品提案会や外国旅行会社との商談会、公式HPの英語サイトやSNS等を利用しPRして誘客・宣伝し、グリーン期のインバウンド受入を強化する様努める。</p>
--	---

### 第3号様式 別紙

宿泊事業者等団体

名称	鹿教湯温泉旅館協同組合
住所	長野県上田市鹿教湯温泉1434-2
代表者氏名	永井 幹則
連絡先	0268-44-2331
構成員	いつみや旅館 大江戸温泉物語 湯屋 鹿教湯藤館 大江戸温泉物語 湯治の宿 鹿教湯桜館 かつら旅館 国民宿舎 鹿月荘 河鹿荘 黒岩旅館 <u>望山亭 ことぶき</u> <u>斉藤ホテル</u> <u>斉北荘</u> 三水館 鹿乃屋旅館 玉屋旅館 つるや旅館 中村旅館 永井旅館 ふちや旅館 みやこ旅館 ホテルやまや <u>鹿鳴荘</u>  (構成員 20者、 <u>うち補助対象事業者 4者</u> (計画時5者))

団体事業	具体的な内容	旅館組合事務所 無線LAN環境構築整備		
	実施時期	平成28年12月20日～平成28年12月27日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費 205,000円 補助金額 102,000円		
個別事業	具体的な内容	HPの多言語化 洋式トイレ設置 客室の洋式化		
	実施時期	平成28年9月1日～平成28年12月31日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 6,397,580円 補助金合計 2,457,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	29.0 (%) (37.3)	33.0 (%) (39.0)	33.6 (%)
	第2四半期	30.0 (%) (48.2)	35.0 (%) (50.0)	45.8 (%)
	第3四半期	32.0 (%) (47.1)	30.6 (%) (49.0)	37.9 (%)
	第4四半期	26.0 (%) (32.2)	30.0 (%) (34.0)	27.9 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	稼働率実績値は目標値を下回る結果となった。要因として、補助を受けた1社で料理長の体調不良により宿泊客数制限をして営業を行っていた期間があった事が要因の一つであると考えられる。また、今年度は上田市内の旅館が客数減に伴い倒産が4件あり上田エリア全域で宿泊客数が下がった事を考えると、補助を受けた宿は目標値には及ばなかったものの事業開始前の実績値は上回っているのでウェブサイトやSNSを活用し情報発信に努めたことが集客につながったと考えられる			
合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	40 (人) (8)	120 (人) (24)	30 (人)
	第2四半期	80 (人) (10)	240 (人) (40)	23 (人)

	第3四半期	120 (人) (15)	300 (人) (45)	60 (人)
	第4四半期	40 (人) (6)	120 (人) (24)	88 (人)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	第2助四半期は目標値に届かなかったが、それ以外は目標値を大幅に上回った。これはHPの外国語火や海外OTAへの登録により実績が伸びたと考えられる。また、第4四半期の88人中66人が海外からの修学旅行の受け入れによるものであり、県が実施するインバウンド誘致活動の学習旅行部門と連携し情報を得て、誘致に繋がった。			
その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策	<p>特に第4四半期という冬の閑散期にこのような大人数のインバウンド客を誘致できたことは大きな収穫であり、今後もOTAやホームページに頼り切る事なく、地道にエージェントにも営業をかけていく重要性を再確認した。また、今回のWi-Fi整備やトイレ洋式化、HP多言語化といったインバウンド対応を契機として、更なる外客宿泊者の獲得に向けて、特に以下の取り組みを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿教湯温泉内での外国語表記の看板やサインを増やして、インバウンド客にわかりやすい温泉場を目指す。</li> <li>・行政や観光協会が実施するプロモーションと連携して、ウェブサイト、SNS等により、施設のインバウンド受入体制強化を積極的に発信していく。</li> <li>・教育旅行といった新たな海外の客層の受入体制を整えるとともに、エージェントの招請を通じて、日本人観光客の閑散期における誘客を強化していく。</li> </ul>			

### 第3号様式 別紙

宿泊事業者等団体

名称	(一社) 蓼科白樺高原観光協会	
住所	長野県北佐久郡立科町芦田八ヶ野1045	
代表者氏名	村上 博之	
連絡先	0267-55-6654	
構成員	<u>ホテル・ド・ミロワール</u> <u>ホテルコロシウムイン蓼科</u> <u>立科白樺高原ユースホステル</u> <u>(株)エルソル B&amp;B sora</u> <u>ペンション ワイルドフラワー</u> ペンション 暖 ペンション おやまのえんどう 構成員7者のうち補助対象事業者5者(計画時7者)	
団体事業	具体的な内容	なし
	実施時期	
	必要な資金の額及びその調達方法	
個別事業	具体的な内容	トイレの様式化 2件 Wi-Fi環境整備 3件 館内多言語表記化 5件 クレジットカード決済端末 1件 客室和洋室化 1件 翻訳システム 2件 プレイルーム 祈りの部屋整備 1件 自社サイト多言語化 1件
	実施時期	平成28年10月16日～12月20日
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費 4,659,500円 補助金額 2,256,000円



全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	11.2 (%) (11.9%)	18.3 (%) (16.2%)	14.8 (%)
	第2四半期	41.1 (%) (43.1%)	47.9 (%) (48.6%)	43.8 (%)
	第3四半期	17.9 (%) (21.4%)	25.0 (%) (27.0%)	23.3 (%)
	第4四半期	16.2 (%) (21.9%)	23.6 (%) (28.8%)	32.4 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	第一から第3四半期は事業開始前の稼働よりは上回ったものの、長野県DCキャンペーンで後押しがあったが、目標には届かなかった。第4四半期は寒さも雪も安定し、オリンピックの影響もあり、全体として目標を上回る利用があった。特に女神湖氷上ドライブが好調の施設が対象施設であり、この施設の稼働が大きく上回ったことで全体を押し上げている。			
合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	13 (人) (10人)	240 (人) (100人)	26 (人)
	第2四半期	122 (人) (110人)	460 (人) (220人)	136 (人)
	第3四半期	43 (人) (39人)	370 (人) (130人)	68 (人)
	第4四半期	91 (人) (91人)	500 (人) (260人)	53 (人)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	補助対象事業者はいずれも個人旅行中心で、インバウンドエージェントとの取り引きがなく、また、当地が交通の便が悪く、インバウンドのお客様を迎え入れるだけの、準備がまだ整っていないことから、目標に至らなかったが、一部の施設はネットを通して個人の海外旅行者が僅かであるが増加した。			
その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策	<p>今回のWi-Fi整備やトイレ様式化、HP多言語化といったインバウンド対応を契機として、更なる外客宿泊者の獲得に向けて、特に以下の取組を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県が実施するインバウンド誘致活動に積極的に参加し、中国系の代理店との関係強化を図る。(台湾)</li> <li>・多言語化により当該地域がインバウンド受け入れ体制が整いつつあることを代理店等に強くアピールしていく。</li> </ul>			

	<p>・引き続き、地域全体として受け入れ体制を整え外客を受け入れる環境整備を町とともに進めて行く。また、インバウンドに関する専門部門の長野県観光局担当部門に対し、積極的に情報発信や情報提供を受け、個人旅行者の取り込みが行えるよう働きかける。</p>
--	--

第3号様式 別紙

宿泊事業者等団体

名称	株式会社 昼神温泉エリアサポート (株式会社 阿智昼神観光局：現会社名)			
住所	〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里338-25			
代表者氏名	白澤 裕次			
連絡先	0265-49-3171			
構成員	昼神グランドホテル天心、石苔亭いしだ、 <u>愉楽の宿清風苑</u> 、桂月（辞退）、 <u>おとぎ亭光風</u> 、 <u>湯元ホテル阿智川</u> 、 <u>懐石と炬ばたの宿吉弥</u> 、 <u>ホテル恵山</u> 、 <u>玄竹</u> (構成員 9者、うち補助対象事業者 8者 (計画時9者))			
団体事業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	W i - F i 整備 7件 ホームページ/館内サインの多言語化 1件		
	実施時期	平成28年9月13日～平成28年12月20日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費 合計：12,029,000円 補助金 合計：6,014,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前> H27年度	<目標> H28年度	<実績値> H29年度
	第1四半期	49.1 (%)	55.4 (%)	56.8 (%)
	第2四半期	54.9 (%)	60.0 (%)	66.2 (%)
	第3四半期	61.4 (%)	63.3 (%)	62.4 (%)
	第4四半期	47.9 (%)	59.4 (%)	42.2 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>第1,2四半期は対象旅館の国内需要がさらに増えた事で目標を達成したが、国内需要が増えた事でインバウンド需要のリクエストを受ける事ができず、WIFI設備を料金タリフ、多言語サイト、旅館掲示物等で案内をしたものの、国内需要が減る第3,4四半期にインバウンド需要を取り込む事ができなかった。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p>&lt;事業開始前&gt;</p>	<p>&lt;目標&gt;</p>	<p>&lt;実績値&gt;</p>
	<p>第1四半期</p>	<p>802 (人)</p>	<p>929 (人)</p>	<p>545 (人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>1,208 (人)</p>	<p>817 (人)</p>	<p>259 (人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>260 (人)</p>	<p>1,160 (人)</p>	<p>357 (人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>1,099 (人)</p>	<p>2,104 (人)</p>	<p>555 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>国内需要がさらに増えている事でインバウンド需要がとりにくくなっている事や、インバウンドの団体需要が減っている事から、WIFI設備を料金タリフ、多言語サイト、旅館掲示物等で案内をしたものの、H29年度は目標を達成する事ができなかった。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>国内需要が年々伸びている事、インバウンドの団体需要が減ってきている事でH29年度は実績を伸ばす事ができなかった。ただし、冬シーズン頃からインバウンドの個人需要(FIT)が徐々に増えてきている事がわかり、海外OTAとの契約を各旅館で進める事ができた為、H30年度は海外OTAのエリアプロモーションを実施し集客を伸ばす。また、プロモーション内でWIFI設備、アクセス面の掲載を強化する。</p>			

### 第3号様式 別紙

宿泊事業者等団体

名称	一般社団法人雪国観光圏			
住所	新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2431-1			
代表者氏名	代表理事 井口智裕			
連絡先	025-785-5222			
構成員	ロッジ丘 越後湯澤 HATAGO井仙 松泉閣 花月 雪国の宿 高半 ホテルシェラリゾート湯沢 温泉民宿 高野屋 湯沢グランドホテル			
団体事業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	客室案内表示多言語化 2件、トイレ様式化 4件 自社サイト多言語化 2件、客室テレビ国際放送設備 1件		
	実施時期	平成28年9月1日～平成28年12月20日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 9,139,200円 補助金合計 4,298,000		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	33 (%) (38.3)	36 (%) (44.3)	56.5 (%)
	第2四半期	47 (%) (38.7)	50 (%) (41.2)	39.9 (%)
	第3四半期	49 (%) (43.3)	51 (%) (46.2)	48.5 (%)
	第4四半期	53 (%) (41.0)	55 (%) (46.8)	55.8 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>稼働率実績値は第1四半期は目標値を上回る結果となったが第2四半期で少し下回ってしまった。当地の冬季はスキー場の降雪状況や天候が集客に密接に関わっている。今期は天候が良い日も多く積雪も十分あったため、稼働率がよかった。スキーだけではなく、雪国の生活文化や食文化を体験できるようなプランを観光協会や宿で打ち出したことによりスキー目的以外のお客様も取り込むことができた。</p> <p>宿泊施設インバウンド受入れ体制として、雪国観光圏では宿泊施設品質認証制度（サクラクオリティ）を行っており、井仙、高半、グランドホテル、花月がその認証を受けて海外へ情報発信を行った。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p>&lt;事業開始前&gt;</p>	<p>&lt;目標&gt;</p>	<p>&lt;実績値&gt;</p>
	<p>第1四半期</p>	<p>3538 (人) (3474)</p>	<p>9906 (人) (6970)</p>	<p>2822 (人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>975 (人) (863)</p>	<p>2080 (人) (1330)</p>	<p>900 (人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>2055 (人) (1667)</p>	<p>3844 (人) (2290)</p>	<p>3552 (人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>5613 (人) (4211)</p>	<p>11852 (人) (6860)</p>	<p>10893 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>補助を辞退した宿泊事業者が1者いるため、外客宿泊者数は目標値を下回る結果となったが、最終的な補助対象事業者（7者）のみで事業実施前、目標の数値を算出し直して見ると、目標を上回った。新幹線で東京から約70分というアクセスの良さから年々外国人は増えている。当地の冬季はスキー場の降雪状況や天候が集客に密接に関わっており、今期は天候が良い日も多く積雪も十分あったため、宿泊数が増加した。スキーだけではなく、雪国の生活文化や食文化を体験できるようなプランを観光協会や宿で打ち出したことによりスキー目的以外のお客様も取り込むことができた。</p> <p>宿泊施設インバウンド受入れ体制として、雪国観光圏では宿泊施設品質認証制度（サクラクオリティ）を行っており、井仙、高半、グランドホテル、花月がその認証を受けて海外へ情報発信を行った。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>今回のトイレ様式化、HP多言語化といったインバウンド対応を契機として、更なる外客宿泊者の獲得に向けて、特に以下の取組を強化する。</p> <p>多言語化したHPにより、スキーだけではなく当地での魅力</p>			

	<p>的な滞在プラン等を発信し、宿泊施設のインバウンド受入れ体制が整備されていることをPRしていき、雪国観光圏として広域で連携していくことにより、海外への訴求率を高めていきたい。宿泊施設認証制度（サクラクオリティ）への参加も促していき、雪国観光圏が実施するプロモーションと連携して、WEBサイト、SNS等により施設のインバウンド受入れ体制強化を積極的に発信していく。</p> <p>HPがまだ多言語化されていない宿は今後取組、既に多言語化されている宿はターゲットを絞り込んだ情報発信等、当地に見合った施策を検討していく。</p>
--	--